上半期中、預金・貸出金ともに順調に伸長しています。

預金・貸出金残高

〈中央ろうきん〉の預金残高（譲渡性預金を含む）は上半期中に1,034億円増加し、**4兆5,125億円**となりました。このうち、個人預金は899億円増加して、3兆3,905億円となりました。

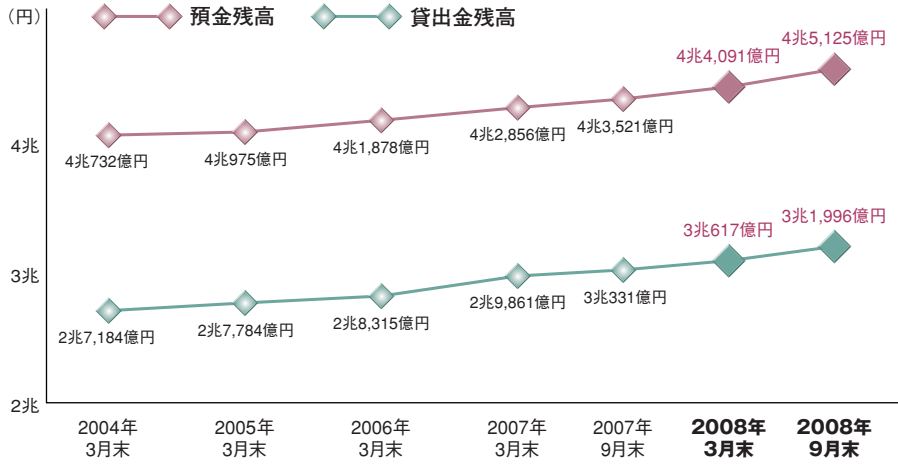
一方、貸出金は上半期中に1,378億円増加して、**3兆1,996億円**となりました。

その結果、2008年9月末の預貸率は、70.90%となりました。

預　金
4兆5,125億円
※2008年9月末

貸出金
3兆1,996億円
※2008年9月末

預金・貸出金残高の推移



中央ろうきんと全国ろうきんの概要

（2008年9月末）

	中央ろうきん	全国ろうきん
預金残高	4兆5,125億円	15兆5,825億円
貸出金残高	3兆1,996億円	10兆4,413億円
出資金	293億円	904億円
団体会員数	15,001会員	61,183会員
間接構成員数	3,263,532人	9,868,691人
常勤役職員数	2,649人	11,247人
店舗数	148店舗	667店舗

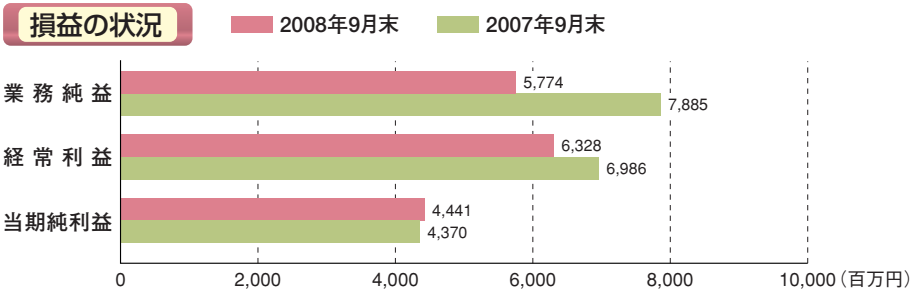
※全国ろうきんの数値は速報値です。

預金や貸出金の状況はどうなっていますか?

損益の状況

預金、貸出金ともに期首から好調に推移し、預貸金利息収支は前年同期を上回り、余裕金利息収入を加えた資金利益は12億円の増益となりました。一方で、米国発の金融危機による世界的な市場の混乱を受け、有価証券の損失が発生したことから、業務粗利益は前年同期比14億円減益の327億円となりました。加えて、経費、一般貸倒引当金繰入額の増加により業務純益は前年同期比21億円減益の57億円となりました。

業務純益が減益に転じるなか、不良債権処理に伴う費用の減少等から経常利益は63億円と前年同期比6億円減益にとどまり、当期純利益は税金費用負担の減少の結果、前年同期をやや上回る44億円となりました。

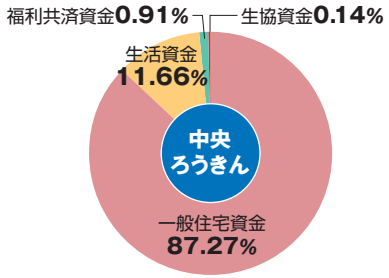


お預かりした預金の使い道

〈中央ろうきん〉は、営利を目的としない金融機関です。皆様からお預かりした預金の使い方も一般の銀行とは違います。銀行が66.94%を企業に融資しているのに対し、〈中央ろうきん〉は、**98.93%**と、そのほとんどを個人のお客様にご融資。働く人たちの生活に役立てられています。

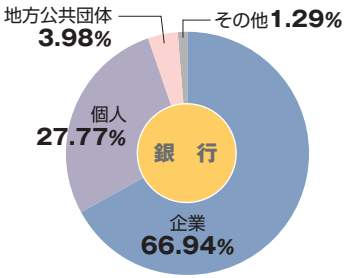
個人のお客様へのご融資
（生活資金＋一般住宅資金）
98.93%

貸出金の使途別割合



※2008年9月末

銀行融資の貸出先別割合



※2008年8月末／日銀HPの統計データより算出